

# ママとパパが作る、子どもへの宝もの。

## ワークショップの内容

いつまでも記憶に残る絵本や昔から語り継がれてきた名作など  
たくさんの絵本や物語は  
子供たちの成長にとって欠かせない心の栄養です。  
そして、それよりももっと大切な栄養は、  
好きなママやパパの愛情にいつも包まれていたいと感じること。  
だから、いつもそばにいて、ずっと手をつないでいたいと願っています。

でも、現実は厳しい。  
仕事や日々のストレス、いわれなきイライラ、  
いつも良い顔ばかりでられません。  
そしてそんなママやパパの伝えたくない気持ちも  
子どもはがっしり感じてしまいます。

挽回したいですね。

そこで、ママ作・パパ作の世界でたった一冊しかない絵本を作って、  
愛する子どもの未来へ、幸せを届けませんか？  
ママ、パパの心が描かれた絵本は  
ご自身にとってはもちろん、こどもにとって、一生の宝ものになります。  
「ママの絵本、読んでー」の声は、  
親子の心と心が触れ合うかけがえのない時間になります。

そして、なによりママが、パパが、  
「いいね！自分」を確認できる時間となり、  
子育てで真っ最中のイライラやストレスから解放されることでしょう。  
子どもに「いいね！ママ」「いいね！パパ」が伝われば、  
2人の「いいね！」が重なりあって、  
かけ算になって、累乗となって、加速膨張となって  
未来はどんどんきらめいていきます。

絵本「じっとみて。」作者ママ・作者パパ

たった2時間で、世界でたった一冊の宝ものが誕生します。



ワークショップでは、ママとパパが2人でチームとなって、交流しながらそれぞれの絵本を制作していきます。



4

絵を描いたら、絵の特徴を説明する文章を書きます。絵では伝えきれない理由や背景など補足説明します。その後、絵本を交換し、感想を書き合います。「私もあなたも素敵だね！」の気持ちが飛び交う嬉しい時間となるでしょう。



6

ママとパパの絵本は子どもにとって宝ものです。毎日、「ママの絵本読んでー！」「パパの絵本見たいー!!」とせがまれる幸せを体験してください。子どもはいつだって、ママの大好き！パパのいいね！を感じていたいと思っています。



1

子どもに贈る自分の絵本を創りましょう。  
ストーリーは植物の一生。「タネ」から始まって、「芽」「太陽」「花」「次のタネ」まで、5シーンでお話は進みます。A5サイズ全16ページのかわいい絵本です。



3

まずは、最初のシーンです。自分自身の内面をじっとみて、「もし、私がタネだとしたら、どんなタネだろう？」と考え、イメージを見つけます。それを色鉛筆やカラーペンで描いていきます。子どもにお話をしたくなる自分自身を表現してみてください。



5

パチパチ!!

パチパチ!!

いいね！がいっぱいの自分の絵本をチームの枠を超えて、みんなの前で紹介しあいます。みんなに注目されて、拍手喝采。自分が作者になった絵本は、世界でたった一冊の宝物です。子どもへ伝えたいママの、パパの思いです。優しさがいっぱい広がります。